

社会・労働関係文献月録

・分類表は2005年12月号に掲載されています。
 ・収録誌の一覧は1991年6月号に掲載されています。
 ・掲載文献は研究所で閲覧・複写できます。所内での複写は有料です。なお、文書等（葉書・FAX・e-mail 可）で申込みの場合は、複写料および送料実費で申し受けます。定期購読者に限り、複写料は割引させていただきます。

法政大学大原社会問題研究所編 ☎ 042-783-2305
 東京都町田市相原町 4342 (〒 194-0298) F. 042-783-2311

2008. 3. 1 ~ 2008. 3. 31 受け入れ分

(文献資料名) (著者名) (収録誌名) (巻-号) (月 号)
 *印単行書の場合→ (発行所) (判・頁) (刊行年月)

I 理論・一般

0. 総記

特集 いま、なぜ、社会保障番号か	都市問題	98-11	07.10
社会保障番号導入の基礎条件（磯村元史）年金一元化と「社会保障カード」導入の課題（古賀伸明）拙速な管理システム改革の危うさ（吉田啓志）社会保障番号で私たちの情報は安全か（三木由希子）			
特集 道州制を考える	都市問題	98-8	07. 8
道州制に疑念あり（井戸敏三）沖縄からみる道州制（仲井眞弘多）スコットランドから考える道州制（山崎幹根）新たな国のすがたを構想できるか（鎌田 司）地方分権改革に向けた道州制の推進（杉浦正健）			
労働を見る社会の視線	金正勲	大原社会問題研究所雑誌	590 08. 1
人口動態の変化と出生数	持田めぐみ	香川大学経済論叢	80-3 07.12
特集 JAによる地域貢献	月刊JA	635	08. 1
協同組合・JAにとっての地域貢献の意義（北川太一）JAにおける地域貢献の取り組み（JA全中総務企画部企画室）			
育児コストと有効需要	橋本賢一	国民経済雑誌（神戸大）	196-6 07.12
地方自治体における地球温暖化対策制度の推進（1）（2）	田中 充	社会志林（法政大）	54-3 07.12
地域から見る日本の少子化	阿部 隆	統計	58-12 07.12
特集 少子高齢化に直面する日韓の福祉政策－両国の挑戦	日本福祉大学社会福祉論集特集号		07.12
韓国の「老人長期療養保険制度」に関する検討（シンポジウム）（丁 炯先）日本における少子化の特徴（シンポジウム）（庄司洋子）韓国における「超」低出産と高齢社会（シンポジウム）			
*グローバリゼーションと労働世界の変容	田端博邦	旬報社	B6.375 07.11
*資本と時間	寺岡 寛	信山社	A5.1冊 07.11
*平田清明市民社会を生きる	平田清明	晃洋書房	B6.1冊 07.11
*ステータス症候群 マイケル・マーモット著 鏡森定信、橋本英樹監訳	日本評論社		A5.343 07.10
*ワーキングプアの逆襲 設楽清嗣、高井晃、関根秀一郎他	洋泉社		B6.188 07.11
*格差社会を変える	福島みずほ	明石書店	A5.115 07.12
*リーディングス戦後日本の格差と不平等 1	盛山和夫編著	日本図書センター	A5.478 08. 1
*格差社会を撃つ	白川真澄	インパクト出版会	B6.255 08. 1
*世界ホームレス百科事典 デーヴィッド・レヴィンソン編集代表	明石書店		B5.798 07.12
*トヨタ世界の光と影	岡 清彦	いそっぷ社	B6.214 07.12
*ドイツ福祉国家の理念と現実をめぐる一考察	森 周子	西部文理大学	B5.69-84 07. 2
*市民社会と福祉国家	渡辺雅男	昭和堂	B6.1冊 07. 4
*雇用社会の法と経済 荒木尚志、大内伸哉、大竹文雄、神林龍編	有斐閣		A5.341 08. 1
*社会福祉の動向 08	社会福祉の動向編集委員会編	中央法規出版	B5.331 08. 1

- *マルクスを「活用」する！ 高橋洋児 彩流社 B6.349 08.1
- *『資本論』と私 宇野弘蔵著 桜井毅解説 御茶の水書房 B6.374 08.1
- *超少子化と家族・社会の変容 国立社会保障・人口問題研究所 A4.172 08.2
- *東京大学経済学部所蔵国労 マイクロ版 丸善 A4.131 08
1. ジェンダー・フェミニズム・女性論
- 特集 『女性の品格』が読まれるワケ 女も男も 110 07.秋・冬
なぜいま「品格」「伝統」ブームなのか(櫻村愛子)女性が蓄積してきたノウハウを企業社会が欲している(信田さよ子)「品格」ブームを支える丸裸の女性たち(竹信三恵子)
- *男女共同参画と男性・男児の役割 原ひろ子, 近江美保, 島津美和子編著 明石書店 B6.129 07.12
2. 労働論
- *これが人間らしい働き方のルール
市田忠義監修 日本共産党労働法制改悪阻止闘争本部編 新日本出版社 A5.245 08.1
3. 労使(資)関係論
- ILOの視点から推察した男女雇用平等 高木早知子 岡山大学大学院文化科学研究科紀要 24 07.11
- 労使関係からみた組織再編をめぐる現状と課題
戎野淑子, 呉学殊, 佐藤厚 日本労働研究雑誌 570 08.1
- 特集 労使コミュニケーションのいま 課題と展望 ビジネス・レーパー・トレンド 394 08.1
- 労使コミュニケーション再構築に向けた課題(座談会)(紀陸孝 古賀伸明 コーディネーター: 稲上毅)
中小企業における労使コミュニケーションと労働条件決定(呉 学殊)
- *中小企業における労使コミュニケーションと労働条件決定 労働政策研究・研修機構 A4.206 07.9
- *労働CSR-労使コミュニケーションの現状と課題 北海道対外文化協会 A4.27 08.1
6. 社会政策論
- 新自由主義「構造改革」と福祉国家解体 二宮厚美 季刊自治体労働運動研究 27 07.12
- 日本型福祉国家の再設計 川野辺裕幸 改革者 570 08.1
- *イギリス自由党の社会政策 村田光義 尚学社 A5.277 07.11
- *社会的排除/包摂と社会政策 福原宏幸編著 法律文化社 A5.269 07.12
7. 社会保障論
- 地域包括支援センターと日常生活圏形成 松村直道 週刊社会保障 2461 07.12.17
- 国際比較のなかの日本 大沢真理 女性労働研究 52 08.1
- 特集 グローバリゼーションと年金 年金と経済 26-4 08.1
- 社会保障協定包括実施特例法の制定と意義(丸山浩二) グローバリゼーションと年金運用(坂口雄作)
海外における年金生活(千保喜久夫) グローバル化と年金(府川哲夫)
8. 社会福祉論
- 米国における社会福祉協議会の発展と衰退 宮崎昭夫 福岡県立大学人間社会学部紀要 16-1 07.11
- 地域資源としての社会福祉施設の活用可能性 李 英子 季刊家計経済研究 77 08.冬
- コンピューター実践支援ツール活用による地域福祉援助の方法に関する研究(Ⅱ)
樋下田邦子 岐阜経済大学論集 41-1 07.11
- 私の社会福祉研究の原点 中井健一 岐阜経済大学論集 41-1 07.11
11. 職業教育・訓練論
- ロシアの経済構造転換期における職業教育の課題(中) 堀内明彦 季刊北海学園大学経済論集 55-2 07.9
- 特集 「人材育成」
アイシン精機におけるグローバル化と人材開発(前田研一) 人材育成の最前線では(インタビュー)
(熊川隆志 小嶋一也 諫山浩士 松本一也)「人材育成」への新しい視点(守島基博)
- *大学のキャリア支援 上西充子編 伊藤文男, 小玉小百合, 川喜多喬 経営書院 A5.234 07.11
- *職業相談におけるカウンセリング技法の研究 労働政策研究・研修機構 A4.1冊 07.9

II 労働問題

20. 総記
- 森岡孝二さん『働きすぎの時代』(インタビュー) 森岡孝二 聞き手: 行方久生 季刊自治と分権 30 08.1

北海道における失業・不安定就業問題（Ⅰ）	川村雅則	季刊北海学園大学経済論集	55-2	07.9
特集 雇用関係における文書の作成・管理・提出義務		日本労働法学会誌	110	07.11
文書提出命令をめぐる裁判例の現状と課題（シンポジウム）（岸 巧）労働契約の適正履行と文書作成（シンポジウム）（開本英幸）労働時間の文書による適正管理（シンポジウム）（浅野高宏）				
* プライドワーク	今 一生	春秋社	B6.217	07.10
* 仕事の悩み解決しよう！ 笹山尚人，中田進，林萬太郎，平井哲史		新日本出版社	B6.212	07.12
* 少子化時代の多様で柔軟な働き方の創出 下崎千代子，小島敏宏編著		学文社	A5.218	07.9
21. 雇用・労働市場				
労働市場参入時の不況の長期的影響	近藤絢子	季刊家計経済研究	77	08.冬
生産情報システムは雇用の非典型化を促すか				
	中馬宏之，川口大司	一橋ビジネスレビュー	55-3	07.Winter
日本の労働市場改革の方向性	八代尚宏	一橋ビジネスレビュー	55-3	07.Winter
22. 労働条件				
転職の常識は本当か	大久保幸夫	一橋ビジネスレビュー	55-3	07.Winter
* 賃金・人事データ総覧 08年版		労務行政研究所	28cm.504	08.1
* 賃金・労働条件総覧 08年版	産労総合研究所編	経営書院	B5.419	08.1
23. 賃金問題				
統計調査別の所得分布について	米澤香，金子治平	統計学	93	07.9
パートタイム労働者とフルタイム労働者の賃金格差の是正	橋本陽子	日本労働法学会誌	110	07.11
* 情報労連賃金実態調査 06年度		情報産業労働組合連合会	A4.338	06.12
* 電機連合賃金実態調査報告 06年度版 第3集		電機連合	A4.170	06.12
* 産業別・規模別・男女別・学歴別新賃金傾向値表 08年版				
	厚生労働省統計情報部編	労務行政	19×B5.262	07.11
* 図解給与明細のカラクリと社会のオキテ 改訂版	落合孝裕	秀和システム	B5.95	07.11
* 情報労連賃金実態調査 07年度		情報産業労働組合連合会	A4.352	07.12
* モデル賃金実態資料 08年版	産労総合研究所編	経営書院	B5.381	07.12
* 規模別・地区別・年齢別等でみた職種別賃金の実態 08年版		労務行政研究所	B5.367	08.2
24. 労働時間				
企業の社会的責任との認識で法改正の動向等注視し意識・働き方改革へ積極的に取り組む				
	宮本尚子	あけぼの	25-4	07.12/08.1
「ワーク・ライフ・バランス」への基本的視点	柴山恵美子	進歩と改革	674	08.2
労働条件の引き下げねらう経済財政諮問会議「ワークライフバランス」論	藤田 宏	前衛	827	08.2
特集 労働時間規制に関する学際的検討		日本労働法学会誌	110	07.11
労働時間規制の法政策（シンポジウム）（和田 肇）経済学から見た労働時間規制（シンポジウム）（樋口 美雄）労働時間とその健康・生活影響（シンポジウム）（岩崎健二）				
大学教員の労働時間制度と裁量労働時間制	深谷信夫	労働法律旬報	1659	07.11.上旬
25. ホワイトカラー労働				
* グローバル化時代のホワイトカラー職場マネジメントのあり方		中部産業・労働政策研究会	B5.107	08.1
26. パート・派遣労働				
長時間労働を解消させ、働く人びとのいのちと健康をまもる	福地保馬	月刊全労連	133	08.2
労働者派遣法の根本問題と現状打開の方向	脇田 滋	月刊全労連	133	08.2
特集 “使い捨て”雇用の転換を		前衛	826	08.1
労働者派遣法の抜本改正は日本社会の緊急課題（小池 晃）派遣法改正をめぐる対決の焦点（深山直人）偽装請負の御手洗キャンオンを追いつめた（岡 清彦）				
人間扱いされない“派遣社員”	吉村宗夫	賃金と社会保障	1455	07.12.上旬
特集 非常勤職員をめぐる諸問題		日本労働法学会誌	110	07.11
非常勤職員の勤務関係（シンポジウム）（清水 敏）非常勤職員をめぐる裁判例の検討（シンポジウム）（勝亦啓文）期限付任用公務員の更新拒否をめぐる行政法上の理論的問題点（シンポジウム）（下井康史）偽装請負状況下における発注者の雇用責任				
	上原康夫	労働法学研究会報	2419	07.12.15

製造業の請負適正化研究会報告書を読む	諏訪康雄	労働法学研究会報	2420	08.1.1
パート社員の採用・定着のためのポイント	木村 進	労働法学研究会報	2421	08.1.15
第二次朝日放送事件（座談会） （脇田滋 森信雄 安部昌男 綱本守 司会：豊川義明）		労働法律旬報	1659	07.11.上旬
*パート等に関するアンケート調査報告書		情報産業労働組合連合会	A4.215	07.9
28. 女性労働				
妻の再就職と夫婦間の時間・支出配分／主観的厚生への影響	坂本和靖	季刊家計経済研究	77	08.冬
均等法世代の総合職女性の離転職行動	大内章子	組織科学	41-2	07.12
*子どもとキャリアどちらもほしい	円より子	ミネルヴァ書房	B6.218	05.11
30. 若年労働				
中小企業における若年雇用	川口健一	電機連合NAVI	14	07.12
若年雇用の新たな「内部化」	玄田有史	一橋ビジネスレビュー	55-3	07.Winter
31. 中高年労働				
特集 事例から展望する将来の高齢者雇用		エルダー	30-1	08.1
新しい日本型経営モデルをつくるのは付加価値報酬制だ（前田卓三）“従業員第一の経営こそ成長の基本” （竹村之宏）年齢を基準としない社会作り（清家 篤）				
技能系定年退職者の企業内キャリア	湯本 誠	札幌学院大学人文学会紀要	82	07.10
高齢者の雇用と引退のマネジメント	高木朋代	組織科学	41-2	07.12
高齢者は何を望んでいるのか	大橋勇雄	一橋ビジネスレビュー	55-3	07.Winter
32. 障害者労働				
オーストリアにおける障害者の職業的インテグレーション				
	小田美季	福岡県立大学人間社会学部紀要	16-1	07.11
*重度障害者雇用事業所における障害者雇用状況に関する調査	高齡・障害者雇用支援機構		A4.101	07.11
*日本の障害者雇用の現状	高齡・障害者雇用支援機構障害者職業総合センター		A4.281	07.11
33. 外国人労働				
特集 外国人労働者の受入れ問題を考える		IMFJC	288	07.秋
イギリスにおける外国人労働者受入れ制度の実態と課題（天瀬光二）フランスにおける外国人労働者受入れ制度の実態と課題（町田敦子）アジアにおける外国人労働者受入れ制度の実態と課題（天瀬光二）				
助け合いの職場・社会を求めて	池野重男	大阪経大論集	58-5	07.11
二十七条（労働と雇用）のもつ意味とわれわれの課題	花田昌宣	季刊福祉労働	117	07.Winter
特集 今後の外国人労働者問題		季刊労働法	219	07.冬季
EUの共通移民政策への道（井口 泰）外国人労働者法制をめぐる課題（野川 忍）フランスの移民規制と外国人労働者問題（宮島 喬）転機に立つオランダの移民統合政策（下平好博）アメリカ移民法と労働市場政策（早川智津子）				
特集 日本で働く外国人労働者の問題		女性労働研究	52	08.1
日本で働くフィリピン人女性家事労働者（菅沼櫻子）外国人研修生・実習生制度の実態と課題（澤田幸子）				
*国境を越える	樋口直人, 稲葉奈々子他	青弓社	B6.278	07.10
*外国人をサポートするための生活マニュアル 日英対訳				
移住労働者と連帯する全国ネットワーク編		スリーエーネットワーク	A5.381	07.11
*外国人をサポートするための生活マニュアル 日中対訳				
移住労働者と連帯する全国ネットワーク編		スリーエーネットワーク	A5.325	07.11
*越境する雇用システムと外国人労働者	丹野清人	東京大学出版会	A5.328	07.12
*外国人留学生のための就職情報 08年		日本学生支援機構	A4.94	07.6
36. ハラスメント				
特集 パワー・ハラスメントに泣く女性たち		女性労働研究	52	08.1
日本の職場における「いじめ」、パワー・ハラスメント（水谷英夫）女性の労働実態とパワー・ハラスメント（屋嘉比ふみ子）				
37. 勤労者意識				
処遇のあり方をめぐる労働者意識	杉山 裕	大原社会問題研究所雑誌	590	08.1

介護職の就業意識－組織調査	小野宗利	経済論究（九州大）	129	07.11
中国における地方公務員－その就業意識	永井隆雄	経済論究（九州大）	129	07.11
企業のファミリー・フレンドリー制度に対する従業員の不公平感	藤本哲史, 新城優子	組織科学	41-2	07.12
非正規従業員への人事諸施策の充実と正規従業員の就労意識	江夏幾多郎	日本労働研究雑誌	570	08.1
* 子どもの将来とキャリア教育・キャリアガイダンスに対する保護者の意識		労働政策研究・研修機構	A4.136	07.9

38. 生活問題

* 経営環境の変化の下での人事戦略と勤労者生活に関する実態調査		労働政策研究・研修機構	A4.351	07.7
---------------------------------	--	-------------	--------	------

III 労働運動

40. 総記

特集 労働者代表制の意味を考える		労働調査	460	08.1
連合が考える労働者代表制（長谷川裕子）労働者代表制の意味と労働組合の役割（藤村博之）ドイツ・従業員代表制の特色と日本への示唆（藤内和公）フランスの従業員代表制と日本で検討すべき課題（松村文人）				
* 調査研究報告書概要		連合総合生活開発研究所	A4.124	07.11

41. 労働組合・運動論

特集 働く者の団結，21世紀の展望をもとめて		月刊権利闘争	375	08.1
地域における働く者の組織化と働く者の学習の展望（大野 久）都市労働現場における権利闘争の課題と主体づくり（横堀正一）ユニオン労働運動の展望（小西純一郎）				

43. 地域別，産業別共闘

中小企業の労働運動	布川智治	電機連合NAVI	14	07.12
-----------	------	----------	----	-------

45. 団体交渉，労働協約

マコーミック工場における組合運動の勝利	伊藤健市	関西大学商学論集	52-5	07.12
---------------------	------	----------	------	-------

46. 賃金闘争（含 生活改善闘争）

○八春闘の課題 非正規労働者底上げに向けて	野尻和夫	進歩と改革	674	08.2
連合・二〇〇八春季生活闘争方針について（講苑）	勝尾文三	中央労働時報	1081	08.1
* 国民春闘白書 07 全国労働組合総連合・労働運動総合研究所編		学習の友社	A4.95	06.12
* 国民春闘白書 08 全国労働組合総連合・労働運動総合研究所編		学習の友社	A4.96	07.12
* 春季労使交渉・労使協議の手引き 08年版				
	日本経営者団体連盟労働政策本部編	日本経団連出版	B5.217	08.1

IV 経営労務

60. 総記

* 事業再生過程における経営・人事管理と労使コミュニケーション		労働政策研究・研修機構	A4.156	07.10
* 中小企業における若年労働力とベテラン労働力の確保・活用戦略		中小企業金融公庫総合研究所	A4.68	07.11
* 中小企業と人材育成	中津孝司編 平田晃祥, 鳥羽達郎, 雨宮康樹, 梅津和郎, 原敏晴	創成社	A5.181	07.4

61. 人事・労務管理

登録型人材派遣会社の経営管理	木村琢磨	大阪経大論集	58-5	07.11
戦略人事	須田敏子	人材教育	229	08.1
* はじめての人的資源マネジメント	佐野陽子	有斐閣	B6.261	07.12

65. 福利厚生

07年版 民間企業対象 本誌第40回調査 持ち家取得支援制度調べ（上）（下）				
	旬刊福利厚生	旬刊福利厚生	1961,1962	07.12.8,18

66. 教育・訓練

本誌調査 管理者の育成・研修に関する調査	企業と人材編集部	企業と人材	917	08.1.5/20
----------------------	----------	-------	-----	-----------

人材育成の再構築	守島基博	人材教育	229	08.1
67. リストラ・雇用	<hr/>			
* 炭鉱労働者の閉山離職とキャリアの再形成10 正岡寛司他編				
	早稲田大学常磐炭鉱アーカイブス研究所	A4.296	07.12	
68. 安全衛生管理	<hr/>			
特集 過労運転を防ぐ	労働の科学	63-2	08.2	
添乗調査から見たトラックドライバーの負担と疲労(鈴木一弥) 不安全なトラック運転に関わる要因はなにか(高橋正也) デフレ経済下の運輸事業の規制緩和と輸送の安全(安部誠治)				
V 労働・社会政策				
70. 総記	<hr/>			
イギリス労働政策の展開	平方裕久	経済論究(九州大)	129	07.11
国際社会の行方, 日本社会の行方(特集)(鼎談) (菊池光造 小室豊允 本山美彦 司会:板東慧)	国際経済労働研究	976	08.1	
71. 雇用・労働市場政策	<hr/>			
* 市町村における雇用問題への対応	労働政策研究・研修機構	A4.139	07.9	
76. 社会保障政策	<hr/>			
寿町における医療福祉の問題	松本一郎	寿町ドヤ街	1	05.4
介護支援専門員実務研修の研修効果意識と課題 永杉憲弘, 鬼崎信好, 本郷秀和				
	福岡県立大学人間社会学部紀要	16-1	07.11	
老人医療攻撃から始まった社会保障の破壊	原 義弘	季刊自治体労働運動研究	27	07.12
特集 崩壊する国民健康保険	都市問題	98-10	07.9	
“未必の故意”で崩壊する国民皆保険(北村龍行) ワーキングプアに対する医療保障のあり方を考える(木村陽子) 公的医療保険を支える地域医療(色平哲郎, 山岡淳一郎) リスク構造から考える国保の財政問題(小松秀和)				
特集 フランス社会保障制度の現状と課題	海外社会保障研究	161	07.Winter	
フランスの高齢者介護制度の展開と課題(原田啓一郎) フランス年金制度の現状と展望(嵩さやか) フランス社会保障制度を考える視点(加藤智章) フランスにおける家族政策(清水泰幸)				
特集 多様化する「子育て支援」の在り方をめぐって	季刊社会保障研究	43-3	07.Winter	
ポジティブ・アクション, ワーク・ライフ・バランスと生産性(阿部正浩) 保育・子育て支援制度の多様化の現状と少子化対策としての課題(周 燕飛)				
誰のための自立支援プログラムか?	山田壮志郎	岐阜経済大学論集	41-1	07.11
利用者の視点からみた障害者自立支援法の課題	山田武司	岐阜経済大学論集	41-1	07.11
英国の保健医療福祉ケア単価推計の日本の精神科医療への意義				
泉田信行, 野田寿恵, 伊藤弘人, 樋口輝彦	社会保険旬報	2337	07.12.21	
医療制度改革と地域格差を考える(鼎談)(上)(西村周三 邊見公雄)	小山秀夫) 社会保険旬報	2338	08.1.1	
高齢社会を支えていくのは誰か	田中 滋	社会保険旬報	2338	08.1.1
母子自立支援施策の現状と課題	金川めぐみ	週刊社会保障	2460	07.12.10
介護制度の普遍化を目指して(上)(下)	白川泰之	週刊社会保障	2461,62	07.12.17,24/31
ドイツにおける最低生活保障制度の再編と新体系	田畑洋一	週刊社会保障	2464	08.1.14
医療費政策の国際的動向	石本忠義	週刊社会保障	2465	08.1.21
「全民医療保障」への険しい道(上)	王 文亮	週刊社会保障	2465	08.1.21
社会保険方式と全額税方式の選択で財源を含めた具体論を(座談会) (大林尚 橋本俊詔 堀勝洋)	週刊社会保障	2463	08.1.7	
転換期を迎えた国民皆保険(座談会)(江口隆裕 宮武剛 八代尚宏)	週刊社会保障	2463	08.1.7	
特集 公共財としての医療を守れ	生活経済政策	548	08.1	
現在の医療制度の中でもできること(森 俊介) 医療従事者の劣悪な労働環境をいかに改善するか(大村昭人) 医療改革の方向性(広井良典)				
特集 生活保護自立支援プログラムの到達点	賃金と社会保障	1456	07.12.下旬	

他法優先から他法連携へ（川端 徹） 自立支援プログラムの現状と今後の課題（シンポジウム）
 （池谷秀登 布川日佐史 大川昭博 岡部卓）

高齢者医療制度と障害者自立支援法	伊藤周平	賃金と社会保障	1455	07.12.上旬
地域生活移行と自立支援法（座談会）（有村律子 大久保常明 大塚淳子	二見清一 森祐司	司会：藤井克徳）		
		ノーマライゼーション	27-12	07.12
*よくわかる雇用保険		労働調査会	B6.214	07.10
*どうする！あなたの社会保障 唐鎌直義, 工藤浩司, 末永睦子, 林泰則	旬報社		A5.123	07.12
*要介護高齢者へのケアカンファレンスの実践とソーシャルキャピタル				
	森 周子	西部文理大学	B5.95-100	07.12
*生活保護ってなに 図解	道中 隆	小林出版	B5.151	07. 3
*在宅医療における医師の意識と実践	森周子, 斉藤嘉孝	西部文理大学	B5.51-59	07. 6

77. 社会福祉政策

寿町簡易宿泊所街で暮らす人々の在宅生活を支える食事配達の現状	松本一郎	寿町ドヤ街	3	07.10
福祉ボランティアを通じた経験型実習導入の可能性（I）				
	本郷秀和, 西原尚之, 松岡佐智	福岡県立大学人間社会学部紀要	16-1	07.11
高齢者福祉民営化の可能性（報告）	鈴木 豊	Working paper（法政大）	135	07.12
認知症高齢者グループホームの介護成果と雇用管理（上）（報告）				
	小林謙一	大原社会問題研究所雑誌	590	08. 1
権利擁護における地域包括支援センターと社会福祉士の役割を展望する（座談会）				
（服部哲治 篠田浩 森村敬子 司会：池田省三）	介護保険情報		8-10	08. 1
特集 子どもの権利を守る		月刊福祉	91-1	08. 1
子どもの権利を保障するための視点（柏女霊峰）少年法の改正と児童福祉の課題（若穂井透）児童虐待の実態と対応の動向（川崎二三彦）子どもの権利擁護・権利保障と児童福祉施設（山縣文治）				
ワーカーズでしかできない地域福祉をつくる	井瀧佐智子	社会運動	333	07.12
地域福祉における住民参加の課題	朴 姫淑	ソシオロゴス	31	07. 9
上田市社会福祉協議会の合併によって生じた課題の一考察	野村健一郎	長野大学紀要	29-3	07.12
ターミナルケアとメンタルヘルス	上平忠一	長野大学紀要	29-3	07.12
*食の福祉的支援		東京都社会福祉協議会	B5.90	07. 3

78. 労働法

特集 派遣法の改正へ向けて		月刊労働組合	515	08. 1
派遣労働者の権利のための抜本的見直しこそ急務（中野麻美）労働者保護の視点で規制（長谷川裕子）				
企業の組織変更時における労働法上の問題	小早川真理	日本労働研究雑誌	570	08. 1
改正雇用対策法への実務対応	北岡大介	労働法学会研究會報	2420	08.1.1
特集 配転問題の今日的課題		労働法律旬報	1662	07.12.下旬
労働契約と配転命令権（本久洋一）配転命令における権利濫用の判断手法について（城塚健之）				
「ワーク・ライフ・バランス」時代における転勤法理（緒方桂子）配転と配慮義務、適正手続、損害賠償（新谷真人）格差是正と労働者派遣法改正をめざす10.4国会内シンポジウム（シンポジウム）				
（コーディネーター：中野麻美 パネリスト：山根隆治 小池晃 近藤正道）労働法律旬報			1661	07.12.上旬
中国における労働契約法の概要	オランゲレル	労働法律旬報	1661	07.12.上旬
*企業再編に伴う労働契約等の承継	寺前 隆	中央経済社	A5.1冊	07.10
*団体交渉・労使協議制	野川 忍	信山社	24cm.223	07.11
*労働基準監督官の仕事がわかる本 改訂版	法学書院編集部編	法学書院	B6.159	07. 9

79. 労働判例

平成18年版実務に活かす重要労働判例	山田省三, 春田吉備彦	労働法学会研究会報特別資料号		07.12.25
早期退職制度における嘱託契約の性質と更新拒絶の可否	柳澤 武	労働法律旬報	1660	07.11.下旬
宅配便業を行なう者の労働者性を否定した原審の判断に誤りがあるとされ、差戻しが命じられた事例				
	向田正巳	労働法律旬報	1660	07.11.下旬
三陸ハーネス株式会社の工場閉鎖に伴う不当労働行為救済申立に関する意見				
	米津孝司	労働法律旬報	1659	07.11.上旬

- 公立学校教師の時間外勤務とそれに対する手当の不払い 萬井隆令 労働法律旬報 1662 07.12.下旬
 連邦公正労働基準法におけるホームケア・ワーカー（在宅介護労働者）に関する最低賃金規制の適用と残業
 手当支給義務の有無 永野秀雄 労働法律旬報 1662 07.12.下旬
 就業後帰宅途中における義父介護のための通勤経路逸脱と通勤災害該当性
 東島日出夫 労働法律旬報 1661 07.12.上旬
80. 労働委員会
- * 不当労働行為事件命令集 《17年1月～7月,8月・131, 132》 中央労働委員会事務局 A5.1218 08
 特集 グローバル化と諸外国の労働事情 労働調査 459 07.11/12
 ドイツの産業別労働協約制度は揺らいだのか（竹内治彦） イタリアにおける雇用の流動化の現状とその課
 題（小寺京子） グローバル化と韓国の労働事情（呉 学殊） フランス労働運動の「静かな革命」（長部重
 康）
- Ⅵ 世界労働
93. ヨーロッパ
- 特集 欧州における雇用形態の多様化と労働者保護 世界の労働 57-12 07.12
 政労使が協力して労働者保護を実現（カレン・ウィルショウ, ポール・ラッセル） 全ての形態の労働者に
 保護・権利を（サイモン・ステイン, ハナ・リード, トム・メリッシュ, サム・ガーニー）
 ドイツの経営体制・企業体制における労働者の共同決定
 エデュアルド・ガウグラウ 増田正勝訳 広島経済大学経済研究論集 30-1/2 07.10
 * イギリス労使関係のパラダイム転換と労働政策 田口典男 ミネルヴァ書房 A5.298 07.12
99. ILO, 国際機関
- 労働者代表選出制度と団結権保障 大和田敢太 滋賀大学経済学部研究年報 14 07.11
 特集 ILOグローバル・スタンダード 女性労働研究 52 08.1
 ILO「グローバル・レポート二〇〇七」を学ぶ（堀内光子） WVN・ILOへの旅（越堂静子）
 * ワールド・オブ・ワーク 07 ILO駐日事務所 A4.47 07
- Ⅶ 歴史
100. 総記
- * 小川政亮著作集 第1～8集 小川政亮著 小川政亮著作集編集委員会編 大月書店 A5.406 07.10
 * 布施辰治著作集 第9～16巻 布施辰治著 明治大学史資料センター監修 ゆまに書房 A5.593 08.1
 * 布施辰治著作集 別巻 布施辰治著 明治大学史資料センター監修 ゆまに書房 A5.171 08.1
101. 生活・労働史（日本）
- 東芝における第二次世界大戦後の人事・賃金制度の変遷（1） 田口和雄 高千穂論叢 42-3 07.12
 * 群馬県被差別部落史料 東日本部落解放研究所編 岩田書院 A5.636 07.11
102. 生活・労働史（外国・国際）
- * 図説「最悪」の仕事の歴史
 トニー・ロビンソン, デイヴィッド・ウィルコック著 日暮雅通, 林啓恵訳 原書房 A5.340 07.12
105. 社会事業・慈善事業史
- 横浜市の福祉行政と横浜市ホームヘルプ協会 松原日出子 松山大学論集 19-2 07.6
107. 社会・労働政策史（外国・国際）
- デュボン社における初期ニューデール労働政策への対応 森川 章 名城論叢 8-3 07.11
108. 労働運動史（日本）
- 1990年代の山形県における全通労働運動（6） 岩本由輝 東北学院大学経済学論集 166 07.12
 * 愛自交の40年 愛知県自動車交通労働組合 B5.111 05.12
 * 道 JAM朝日レントゲン工業労働組合 A5.210 07.11
 * 連合総研20周年記念誌 連合総合生活開発研究所 A4.55 07.11
 * A C ニールセン労働組合の44年 渡辺 勉 A4.32 08
110. 社会主義運動史（日本）
- * 時代の証言者伊藤千代子 藤田廣登 学習の友社 A5.159 05.7

*小林多喜二とその盟友たち	藤田廣登	学習の友社	A5.143	07.12
*私たち、日本共産党の味方です。	筆坂秀世, 鈴木邦男	情報センター出版局	B6.228	07.7
111. 社会主義運動史(外国・国際)				
*トロッキー入門	対馬忠行著 松田政男解題	こぶし書房	B6.150	07.12
112. 諸社会運動史				
杉山元治郎の公職追放(下)	横関 至	大原社会問題研究所雑誌	590	08.1
*反核平和運動に捧げた半生	富田隆順著 上田小県近現代史研究会編	上田小県近現代史研究会	A5.102	07.10
*研究所十年新たな出発		和歌山人権研究所	A4.83	07.11
*市民的自由の広がり	自由人権協会編	新評論	B6.279	07.11
*水俣への回帰	原田正純	日本評論社	A5.1冊	07.11
*水平運動と融和運動	大阪人権博物館	A4.28	07.12	
*水俣五〇年	最首悟, 丹波博紀編	作品社	A5.364	07.12
*「君が代」強制解雇裁判一審判決までの記録	「君が代」解雇裁判を共にすすめる会		B5.475	07.7
*第一次大戦後における弁護士布施辰治の思想と行動	吉川圭太	東北史学会	A5.109~134	07.9
*イギリス女性運動史	レイ・ストレイチー著 栗栖美知子, 出淵敬子監訳	みすず書房	A5.1冊	08.1

●全社会的福祉のなかの介護福祉と居住福祉
法政大学大原社会問題研究所叢書

嶺・学編著—A5判・三三〇頁・四四一〇円(税込)

高齢者の住まいとケア

自立した生活、その支援と住環境

法政大学大原社会問題研究所の「加齢過程における福祉研究会」での報告を基礎に、高齢期の生活の基礎である住まいと私的にも社会的にも重要なケアについて、制度や実態を分析し、課題を探究する。

1章 高齢者の住まいとケア—全社会的福祉のなかの介護福祉と居住福祉— 嶺学
付論 小規模多機能型居宅介護をめぐって 坂田英智 嶺学
2章 「安心ハウス構想」とその後の展開 前川佳史 嶺学
3章 東京都における高齢者の住まいとケアに関する施策 高橋明生 嶺学
4章 高齢期を安心して住まうべくして 高橋明生 嶺学
5章 高齢期に適した住居の条件をめぐって 池田敏史 嶺学
6章 ケアハウスの現状と課題 五十嵐さち子 嶺学
7章 有料老人ホーム—経過、現状、課題— 池田敏史 嶺学
8章 高齢者グループホームにおけるケアのあり方をめぐって—住まい、方、ケアの在り 吉田正浩 嶺学
9章 認知症高齢者グループホームの展開と課題 岡本健次郎 嶺学
10章 高齢者に対応する共生住宅、その現実と課題 岡本健次郎 嶺学
11章 共に住む家のあるやさしくやわらかい街 岡本健次郎 嶺学
12章 終りに—自立した生活、その支援と住環境 嶺学

●世界的規模で展開される寡占的大競争段階下の労働編成
木村保茂・藤澤建二・永田萬享・上原慎一著—A5判・三三〇頁・五四六〇円(税込)

鉄鋼業の労働編成と能力開発

成熟段階に入った我国鉄鋼業の日本の労働編成、能力開発の特徴と到達点を製鉄所三社七製鉄所の調査より、のりつら、合理化との関わりで説明。

序章 研究の目的と調査の課題 木村保茂
1章 鉄鋼業の合理化と労使関係 木村保茂
2章 本工の労働と能力開発 永田萬享
3章 保全工の労働と能力開発 上原慎一
4章 人事・処遇制度の再編成と労働の特質 藤澤建二
5章 社外企業における労働編成と労働の特質 上原慎一

●ハート労働者の組織拡大の取り組み—その成果を検証!!
鈴木玲・早川征一郎編著—A5判・三三三頁・四四一〇円(税込)

労働組合の組織拡大戦略

組合員の減少を食い止めるための戦略を検証 兵頭淳史・山垣真浩・浅見和彦・松尾孝一・長谷川義和・瀧野力・長崎登記夫・内藤個人執筆

●二〇〇七年度 経済統計学会研究奨励賞受賞
水野谷武志著—A5判・三六〇頁・五四六〇円(税込)

雇用労働者の労働時間と生活時間

国際比較統計とシナリオの視角から仕事と生活のバランスを保ちつつ男女が共同参画できる社会をどう実現するのか、時間の側面から労働と生活を総合的に捉えるミクロ統計的分析。

●ニューカマー外国人の活動と行政を主とした地域社会の対応
神奈川大学人文科学研究所編(研究叢書24)—A5判・二六〇頁・四八三〇円(税込)

在日外国人と日本社会のグローバル化

フィリピン人、在日ブリアン、在日中国人、日系ブラジル人など、在日外国人の出身国社会や、横浜地域での仕事と生活の実態を分析。

御茶の水書房

〒113-0033 東京都文京区本郷5-30-20 Tel.03-5684-0751
ホームページ <http://www.ochanomizushobo.co.jp/>